



# 小売業

RETAIL TRADE

## 小売業とは

小売業は、日本標準産業分類において、主として「個人用又は家庭用消費のために商品を販売する事業所」及び「建設業、農林水産業(法人組織)、製造業、運輸業、飲食店、宿泊業、病院、学校、官公庁等の産業用使用者に少量又は少額に商品を販売する事業所」と定義されています。

次に掲げるものは小売業として分類されます。

- (1) 商品を販売し、かつ、同種商品の修理を行う事業所  
なお、修理を専業としている事業所はサービス業に分類され、修理のために部分品などを取替えても販売とはみなしません。
- (2) 製造小売業  
製造した商品をその場所で個人または家庭用消費者に販売する、いわゆる製造小売業は、小売業に分類されます。(例：菓子屋、パン屋等)  
なお、製品を製造する事業所が店舗を持たず、通信販売により小売している場合は、製造業に分類されます。
- (3) ガソリンスタンド
- (4) 行商、旅商、露天商  
これらは一定の事業所、恒久的な事業所を持たない場合が多くありますが、業務の性格上、小売業に分類されます。
- (5) 官公庁、会社、工場、団体、劇場、遊園地等の中にある売店で、当該事業所以外のものによって経営される場合。

## 許認可

例えば、中古自動車小売業の場合、古物営業法に基づく許可など、扱う品目によって許認可が必要となる場合があります。

小売業  
(雑貨店・中古車販売)の  
創業計画書例は、

P.19,21

をご覧ください。

point

## ！ 事業計画のポイント・留意点

「雑貨店」「中古車販売」の創業計画書例を掲載しています。

「雑貨店」の場合、明確なコンセプトとそのコンセプトに沿った商品の品揃えのための仕入ルートを確認することがポイントです。仕入のロットと支払サイトによっては運転資金が増大することに留意してください。

「中古車販売」の場合、ターゲットの絞込みによる差別化に加えて品質・アフターサービスなどの付加価値を高め競争を回避することがポイントです。顧客が求める車種を相場情報を踏まえて調達できるルートを複数確保することに留意してください。





# 小売業(中古車販売) 創業計画書例

小売業(中古車販売) 創業計画書例

創業計画書									
◆事業概要									
開業形態	個人事業・ <b>会社事業</b>			商号(個人) 会社名(会社)					
開業(予定)住所	電話 ( )								
開業届出(個人) 設立登記(法人)	有 ・ 無		開業(予定)年月日 設立(予定)年月日		年 月 日				
業種	中古車販売		資本金		〔会社設立(予定)の場合〕 円				
従業員数	1	取扱品	中古車・中古パーツ	仕入先	(株)〇〇 〇〇モーター(株) ほか				
開業動機・目的	15年にわたり中古車(クラシックカー含む)販売及び自動車の整備に従事し、業界の知識・経験に加えて仕入先や連携先などの人脈を構築してきた。ロードサイドの好立地の物件が確保できたため、長年の夢であった日本のクラシックカーに特化した店を開きたいと決意した。								
開業に必要な知識、技術、ノウハウの習得	15年にわたり中古車販売業に従事し、業界の知識・経験に加えて仕入先や連携先などの人脈を得た。 1級自動車整備士資格。								
◆運転資金計画									
名称	金額	積算内訳							
商品・材料等の仕入資金	4,000 千円	5台分の仕入資金(@800千円)							
人件費等	800 千円	人件費2か月分							
その他の資金	700 千円	家賃、その他経費2か月分+予備費40千円							
計	A 5,500 千円								
◆設備計画									
区分	土地・建物	面積	取得方法	自己・新築 取得・賃貸	取得に要する資金	契約年月日	取得(完成) 年月日		
事業用不動産	土地	m <sup>2</sup>			千円				
	建物	80 m <sup>2</sup>	賃貸保証金		2,000 千円				
	計	B (取得に要する資金)			2,000 千円				
区分	名称	型式・能力	数量	単価	金額	発注先	設置(完成) 年月日		
機械器具・什器備品等	内外装工事費	〇〇〇	〇	〇〇	1,000千円	〇〇〇			
	設備	〇〇〇	〇	〇〇	3,000千円	〇〇〇			
	備品	〇〇〇	〇	〇〇	500千円	〇〇〇			
	計	C (金額)			4,500 千円				
◆今回の資金計画による必要資金合計 A+B+C= 12,000 千円(D)									

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

※本計画では、注文を受けてから車を仕入れますが、展示場を設ける場合は、土地も必要となります。

※「◆資金調達計画」の合計額(D)と一致させてください。

◆資金調達計画										
自己資金	預	金		預		金		以		外
	預け先(金融機関本支店名等)	預金種別	金額	種	類	金額				
	〇〇〇	普通	4,000 千円	有価証券		千円				
			千円	その他( )						
自己資金合計			4,000 千円							
借入金等	借入先	年利	借入額	毎月返済額	借入期間					
	今回の借入額	〇.〇%	8,000 千円	95 千円	'18.〇.〇~'25.〇.〇					
			千円		~					
借入金等合計			8,000 千円	調達資金合計	D	12,000 千円				
◆収支計画(今後1年間分)										
支	出		収		入					
仕入高	29,550 千円		売上高	40,500 千円						
外注工費	千円		工賃収入							
人件費	4,800 千円		雑収入							
その他費用	3,960 千円									
利益	2,190 千円									
計	40,500 千円		計	40,500 千円						
◆販売・仕入先										
主な販売先・受注先	販売・受注 予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注 予定額	支払方法					
一般客	年 30,200 千円	現金	(株)〇〇	年 16,300 千円	月末締め 翌月〇日現金払					
〇〇(株)	年 10,300 千円	現金	〇〇モーター(株)	年 8,050 千円	15日締め 翌月〇日現金払					
			ネットオークション	年 5,200 千円	現金					

※年間返済額1,140千円  
※借入金は利益で返済できるように計画をたてる必要があります。

※今回の借入額は、わかる範囲で記入してください。

【単価・売上根拠より】  
中古自動車 24,800千円  
中古パーツ 4,750千円

【単価・売上根拠より】  
中古自動車 31,000千円  
中古パーツ 9,500千円

※借入金の年間返済額1,140千円を上回る計画額です。

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

## ■単価根拠

- 中古自動車販売(当社で修理後販売)  
1台100万円 ※取り扱い製品の相場から 原価率80%
- 中古パーツ販売  
1件10万円 ※取り扱い製品の相場から 原価率50%

## ■売上根拠

- 中古自動車販売  
月2台 ※前職実績は平均月5台
- 中古パーツ販売  
月5件 ※前職実績は平均月10件
- ※認知度向上と紹介などで6か月目より売上増加  
中古自動車販売は月3台/中古パーツ販売は、月7件(以降毎月1件ずつ増)で試算
- 役員報酬: 300千円/月
- 人件費: 100千円/月
- 家賃: 200千円/月
- その他経費: 130千円/月  
(通勤交通費15千円/月、光熱費50千円/月、ほか消耗品費、減価償却費、借入金利息など)